



高橋教授の

この人に 会いたい

Vol.74

ゲスト

木村弥生

氏 江東区長、前衆議院議員、看護師

東京都江東区は亀戸、深川など「下町」と、有明、豊洲に象徴される近代的計画都市が混在し多面的な顔を持つ一方、急激な人口増加に伴い学校施設の拡充といった、全国的にあまり例のない社会問題に直面している。今年4月の区長選で初当選を果たした看護師で前衆議院議員の木村弥生区長を迎え、山積する行政課題への処方箋や、看護の視点を軸にしたこれからの医療・介護のあり方などについて意見を交わした。

めざすは「下町」と「未来都市」の融合 看護師、国政経験を区政に活かす

南北交通網の改善にめど 周辺路線の混雑緩和も期待

高橋 私は2日前、中国出張から帰国したばかりです。現在の中国の大都市には、昔からの街並みが残るオールドタウンがあり、郊外に高層ビルが林立するニュータウンが建設され、2つの地域にはつきり分かります。一方、江東区にも富岡八幡宮のお祭り、門前仲町の商店街など江戸情緒を残す地域

と、豊洲のタワマン街のような新しいエリアがあります。東京の「ニュー・ト・オールド」の象徴的な両地域をにらみながら、区政運営されている形です。

木村 おっしゃるとおりです。一言で申し上げると、「下町」と『未来』のハイブリットです。私はもともと、亀戸の出身で、亀戸天神があり、古い街並みが残っています。一方、タワーマンションが立ち並び未来都市と言われるような豊洲、有明があり、若い子育て

世代が多く住んでいらつしゃいます。高齢化率は他区に比べて低く、この街ならではの強みを政策にどう活かしていくか、腐心しています。

高橋 まず、お聞きしたいのは交通問題です。東西線、都営新宿線など東西の交通網が発達している一方、南北をつなぐ交通網がなく、北と南が分断されています。木村 南北交通の実現は本区の悲願でしたが、ようやく長年の懸案だった地下鉄8号線の延伸のめど

が立ちました。東京メトロ有楽町線豊洲駅から東陽町駅を経由し、住吉駅に至る区間を整備する計画で、2030年代半ばの開業をめざし、事業が動き出しています。

たとえば、住吉駅から豊洲駅まで現状20分かかっていたところが9分に大幅短縮されるほか、東西線をはじめ周辺路線の混雑緩和、輸送障害時の代替ルート確保につながるなどが期待できます。このほか、JR越中島貨物線の一部などを活用し、亀戸〜新木場間

撮影=関口宏紀

にLRT（次世代の軌道支援交通システム）構想があります。東部地域の交通環境を改善するため、調査研究を再開したいと考えています。

高齢者の足の確保と保育料 北と南で異なる課題に対応

高橋 都市計画のビジョンを基に、まちづくりを進めていると思

います。北部の歴史と伝統のある地域に住んでいる方と、湾岸エリアに住むパワーカップル（共働きとともに高収入の夫婦）と呼ばれる方たちの要望はどう違うのですか。

木村 北側の高齢者の皆さんからは足の確保ですね。グリーンズローモビリティ（時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービス）や、コミュニティバスといった交通手段

のご要望が多いです。一方、南側の子育て世代の場合、世帯所得によって異なる保育料についてのご要望が目立っています。一時預かり施設の改善を選挙公約に掲げており、人口増に伴う子育て支援策にはさらに力を入れていきます。また、学校によっては校庭が手狭になっており、子どもたちの遊び場の確保も含めて課題です。

高橋 江東区は人口が増えています。新しいインフラを整備するため莫大な予算が必要です。人口増に伴う需要の増大と財政のバランスを取るの難しいでしょう。

木村 一般会計予算は2





新しい価値観の創出に期待

木村

370億円ほどですが、本区の行政施策のポイントは防災です。北部のいわゆる下町は浸水リスクが高いエリアで、荒川が氾濫すれば、1〜2週間は水浸しになってしま

うと言われています。これに対し、湾岸エリアは災害で停電した場合、高層マンションのエレベーターやトイレが使えなくなってしまう防災上の大きな課題があります。臨海部を中心に都有地も多く、

インフラ整備については開発主体である都との連携が何より重要です。

日本人と外国人の融和へ 草の根の交流機会を促進

高橋 このエリアでも国際化、多様化が急速に進んでいます。ダイバーシティ・マネジメントのある種、実験場のような側面もありま

の保健所で医療相談などを電話で

対応する仕事をしていました。私は保健所で働いた経験はありませんでしたし、公務員の非正規雇用問題の実態も知ることができませんでした。そんなとき、「4期16年続き、硬直化した区政を変えてほしい」と地元の方から声がかかったのです。時代の流れのなかで、どんどんこぼれ落ちてしまう人たちに寄り添う政策を実現したいと立候補

を決意しました。

高橋 区長選についてはまさに、「出たい人より、出したい人」という感じですね。看護師出身で日本看護協会にも勤務されました。私は1990年から2010年ぐ

木村 看護師不足が社会問題化

多文化共生社会を実現する

高橋



木村弥生

Yayoi Kimura
江東区長、前衆議院議員、
看護師・保健師

きむら・やよい●1965年生まれ、東京都江東区出身。大学卒業後、出産、子育てを経て2004年、38歳で慶應義塾大学看護医療学部に入職。看護師として勤務した後、08年に日本看護協会に入職。広報部課長、政策秘書室長などを歴任した。14年、衆議院議員選挙で北関東比例ブロックより初当選。17年に再選（近畿比例ブロック）し、総務大臣政務官などを務めた。23年4月の統一地方選で江東区長に初当選。父親は衆議院議員を3期務めた木村勉・内閣府元副大臣

すね。

木村 本区には約3万人の外国籍区民があり、23区では4番目の多さです。たとえば、大島にはIT系企業に勤務するインド人が多く住んでいらっしゃるインド人コミュニティがあります。地元のお祭りに参加するなど日本人とも融和し、多様性を大切にしたいという関係を築いています。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めたころ、医療従事者がいられない差別や偏見にさらされたことがありました。日本在住の外国人に対しても同じことが言えると思います。私たちにとっても知らないことが恐れになり、それが差別や排除につながっていくのです。多文化共生社会の実現は区政運営の大きなテーマの1つです。

「コロナの危険手当」を整備 看護師の待遇改善の一助に

高橋 そもそも、今回の区長選に出馬するにあたってどんな経緯があったのですか。

木村 2年前の衆院選で落選した後、こちらに戻り、千葉県船橋市

し、看護の配置ができなければ、

病院を閉鎖せざるを得なくなり、処遇改善が進みました。大学で看護学を学んだナースや、男性看護師が増えたこともあります。ジェンダーの問題も影響しています。女性が働くことが当たり前になった時代とちょうどマッチしたのではないのでしょうか。

高橋 新型コロナのときは、看護師が置かれた状況をどのように見っていましたか。

木村 職責を果たそうと、頑張っているにもかかわらず、「看護師の子ども」というだけで、保育園で預かってもらえなかったり、家族からも「辞めてくれ」と言われたり…。20年4月、当時の安倍晋三首相に、看護師への危険手当（特殊勤務手当）の支給を直訴し、慰労金として実行していただきました

高橋 これから、特に重点的に進めていきたい施策はありますか。

木村 一人ひとりが生きがいを持ち、健康に働ける、誰かの役に立っている場所づくりを進めたいです。健康福祉施策や、健診受診率の向上に加え、歩きやすい道や交通手段の確保といったつながりやすさ、歩きやすさを重視した施策に取り組みたいと考えています。

また、社会福祉協議会の会長はこれまで区長が務め、理事も当てる職でした。私が区長になってからは、長年地域の福祉活動、障がい者や生活困窮者の支援活動に携わってきた方に会長、理事になっていただきました。若い世代、女性も増やしたところ、これまでになく活発になりました。

た。その後、看護師を応援するよ

うなキャンペーンがありました。が、私は訪問看護師の活用についてもっと検討すべきだったと今は考えています。

高橋 病院経営者へのメッセージをお願いします。

木村 この少子化社会において、「夜勤ができなければ辞めてほしい」「妊娠したから辞めてほしい」などと考えている病院経営者はいらっしやらないと思います。やはり、多様で柔軟性のある働き方を促進していくことが、離職率の低下に直結します。日々、奮励している看護師の努力が報われるよう、福利厚生の実に努めていただければと思います。

高橋 江東区は人口減少という日本多くの自治体が抱えている課題とは逆の新しい社会課題に直面しています。日本ではまだ確立されていない清新かつ斬新な行政手法を取り入れ、新しい価値観の中心地、発信地になっていただくことを期待しています。

本日は、どうもありがとうございます。

高橋 泰

Tai Takahashi
国際医療福祉大学教授
たかはし・たい●1986年、金沢大学医学部卒業。東京大学病院第1第3第2内科・麻酔科で研修。92年、同大学医学部医学系大学院医学博士課程修了（医学博士）後、米国スタンフォード大学に留学。94年、ハーバード大学公衆衛生校に武見フェローとして留学。97年4月、国際医療福祉大学医療福祉学部医療経営管理学科教授。2016年9月より21年3月まで安倍内閣未来投資会議の構造改革徹底推進会合医療福祉部門副会長を務めた